

第47回蘇峰会静岡県書道展

開催要項

本書道展は公益財団法人蘇峰会が徳富蘇峰先生の偉業を顕彰し、あわせて青少年の健全育成を図り、また書道の発展に寄与することを目的に毎年開催しています。徳富蘇峰先生は江戸末期の文久3年(1863)に熊本で生まれ、昭和32年(1957)に95歳でその生涯を終えるまで、明治・大正・昭和の3代にわたってジャーナリスト・歴史家として活躍されました。

その足跡をたどりますと、明治20年に「国民之友」を創刊、同23年には国民新聞社を創立、社長兼主筆として健筆を振るわれました。昭和18年には幾多の功績によって文化勲章を受章されました。先生の全100巻からなる『近世日本国民史』は不朽の名著です。

先生は静岡県とも深い関わりを持たれており、熱海の晩晴草堂にて天寿を全うされました。その薫陶を受けた方々も多く、その人たちを中心に蘇峰会が結成され今日に至っております。



徳富蘇峰翁

- 主 催／公益財団法人蘇峰会、静岡新聞社・静岡放送
駿府博物館
- 後 援／静岡県、静岡県教育委員会、静岡市、静岡市教育委員会
静岡県書道連盟
- 展覧会場／静岡市駿河区登呂3-1-1 駿府博物館
- 会 期／令和6年3月12日(火)～3月24日(日)
〈前期：3/12(火)～17(日) 後期：3/19(火)～24(日)〉

〈応募要項〉

(1) 応募資格

園児・小学生・中学生・高校生・大学生・一般で、県内に在住する方

(2) 応募規定

(イ) 園児・小・中・高校生の部

①毛筆で一人1点、大きさは半切画仙紙の4分の1
(縦68cm×横17cm)

②語句は指定語句に限ります

③作品に学年・氏名を記入して下さい

(園児および小1・2年生は名前のみでも可)

④出品作品は原則として返却いたしません

(ロ) 一般・大学生の部

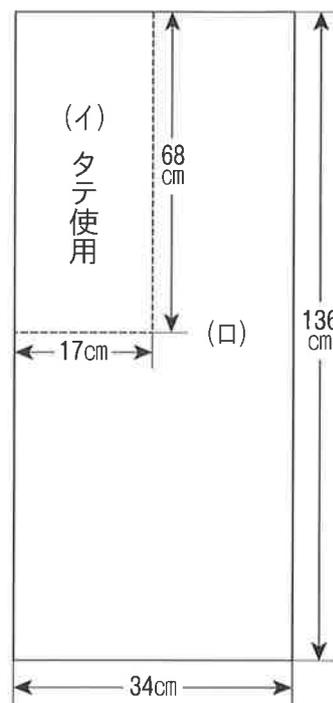
①毛筆で一人1点、大きさは半切画仙紙(縦136cm×横34cm)

②表装・仮表装・裏打ちはしないで下さい

③語句は指定語句の中から、自由に選んで下さい

④作品に名前(号)、印を必ず入れて下さい

⑤作品の返却希望者は、出品票に『返却希望』と明記して下さい
(“着払い”で返送します)



◆共通事項(園児～一般)

①代表者は必ず出品票(別紙)を作成し、作品とともに提出して下さい。

個人で出品される場合も同様とします。出品票は蘇峰会ホームページ
(<http://www.sohoukai.com>)からダウンロードできます。

②別紙用紙に氏名・住所・学校名・学年等を記入しシールを剥がして作品裏に貼って下さい。受付番号は未記入でお願いします。

別紙用紙(シール式)がない場合は、上記事項をメモ書きして作品裏に糊付けして下さい。

③出品作品の搬入は郵送または宅配便で行って下さい(持参はご遠慮下さい)。

(ハ) 上記規定外の作品は失格とします

(ニ) 出品料 ※園児・小・中・高校生……………200円

※大学生・一般……………500円

銀行振込・郵便小為替(無記名でお願いします)・現金書留にて納入して下さい。

切手での納入はお断りします。

振込先 静岡銀行 登呂支店(普通) 0548378

公益財団法人 蘇峰会

(ホ) 募集受付期間 令和6年1月13日(土)～19日(金)(当日消印有効)

(ヘ) 応募先(問い合わせ先)

〒422-8033 静岡市駿河区登呂3-1-1

蘇峰会静岡県書道展事務局 ☎054-284-9011 (平日10:00～17:00)

(3) 審 査

審査は静岡県書道連盟に委嘱します

(4) 入賞発表

令和6年2月下旬 静岡新聞朝刊紙上で発表します

(ただし、優秀賞は後日、記念品の発送をもって発表に代えさせていただきます)

(5) 表彰式

令和6年3月17日(日) 静岡新聞放送会館18階「蘇峰ホール」

(場所は静岡市駿河区登呂3-1-1 静岡新聞社)

※表彰式への出席は、会場の関係で奨励賞以上の方に限定します

(6) 賞

徳富蘇峰賞	6点
静岡県知事賞	1点
静岡市長賞	1点
静岡県教育委員会教育長賞	3点
静岡市教育長賞	3点
蘇峰会賞	5点
静岡新聞社・静岡放送社長賞	5点
駿府博物館長賞	5点
静岡県書道連盟会長賞	5点
静岡県書道連盟賞	7点
審査委員会賞	7点
奨励賞	7点
優秀賞	全作品の10%相当

※出品者全員に参加賞をさしあげます

(7)指定語句

第47回蘇峰会静岡県書道展 「指定語句」

▽園児……………よいこ

▽小学生(楷書)

1年生……………みらい

2年生……………よろこび

3年生……………ふじの山

4年生……………生きる力

5年生……………美しい光

6年生……………夢と希望

▽中学生(行書)

1年生……………新たな道

2年生……………大志を抱く

3年生……………花開く未来

(小・中学生指定語句は静岡県出版文化会選定)

▽高校生(書体自由)

居敬窮理

【読み】きよけいきゆうり

【意味】心を専一にし日頃の振る舞いを慎み、広く物事の道理を窮めて正確な知識を得る事。

▽一般(書体自由)

①新しき年の始の初春の今日降る雪のいや重け吉事
(大伴家持・万葉集)

②來の宮の巨樟がもとに吾立てば若きころの蘇り
來る(徳富蘇峰)

③水光激瀧晴方好 山色空濛雨亦奇
欲把西湖比西子 淡粧濃抹總相宜(蘇軾)

【意味】水面の光にきらきらとさざなみが揺れ、晴れた日の景色こそ美しい。山並みが霧雨にほんやり霞み、雨の日の景色もまたすぐれている。西湖を西施にたとえるならば、薄化粧も厚化粧もすべてよく似合う。

④不傲前賢不銜奇 短吟長嘯任吾痴

孤雲出岫泉行地 此是蘇峰野客詩(徳富蘇峰)

【意味】古賢をまねる事は考えないし、突飛な表現でひけらかすことは好まない。短い詩も長い詩も我が愚かさそのまま述べるだけだ。ちぎれ雲が岫を出てゆくように、又泉が地下を流れ掘った所に噴き出すように、何の束縛も影響もなくうたう。これが蘇峰の詩野である。